

ぼだい樹

37

2003/11/1 発行
津島市神明町
牛頭山 宝寿院

宝寿院歳時記

秋 たけなわ 実りの季節となりました。猛暑から急転直下晩秋の気配さえ感じて、夏物から冬物へ衣更えです。

庭も夏の長雨で 肥沃な土が 少々栄養が足りなくなり、来春に備えて寒肥の増量までの程度にしようかと考えています。かりんが沢山なっていますよ。花梨酒は

如何ですか？ 紅白の萩・フジバカマ・花茗荷・紫苑・菊も 早咲きから咲き始め、庭一面に咲き競うのですが、今年は少し様子が違ってきます。津島の秋祭りも、地元の人々の 涙ぐましい努力によって、十五台の山車が参加して開催されました。

向島三車(馬場町・中町・上町)それぞれ特徴の有る半纏(ハンテン)を着用します。中町は文字車と言いい、からくりの人形が筆を持って本当の墨をつけて 半紙に墨痕鮮やかに文字を書きます。半纏の襟に、合成文字が書かれています。

上町は綾車と言いい唐子が曲芸をします。糸も、引っかけるフックも無い中で空中

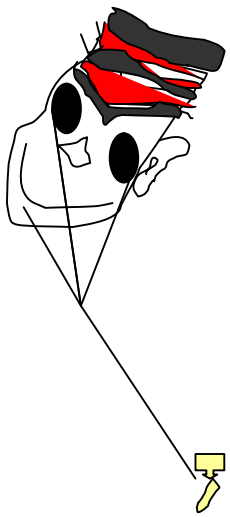
を飛びます。来年はきつと見に来てね。

宝寿院の庭では、正月に咲くヒマラヤユキノシタがこちらこちらで咲き、てっせん(クロマチス)の狂い咲きが見られ、津島高校の桜が咲いているそつです。変です。来年は普通の年にしたいですね。

申年の梅は梅干しにすると良いと言ひ伝えられています。来年こそ梅の実が豊作になるといいですね。又、来年は母屋の立替普請が難しい年です。ご注意ください。庭の異変ばかりでなく、お米も野菜も気候に左右される仕事はとも大変ですね。さて、新年の初参りを御計画ください。

除夜の鐘と同時に 厄除け薬師さまの扉を開いて参詣の皆様は 甘酒を接待します。

昨日と今日がどれほど違うのか解りませんが、何故か、おごそかな心洗われた時が訪れます。二〇〇四年の 幕開けと共に、家族の平安を、この一年の無事息災を祈りましょう。宝寿院では、申年の泰平を祈念し、世界中の子供たちの平和を 元朝護摩に託します。



宝寿院北駐車場案内

宝寿院

津島神社 東

赤色駐車場

美容室ロン

この道ほそい

文西小

接骨院

井天宗

大和町

至一宮

155

至弥富

フジマル

長寿の里

細い道ですが注意して
入れて下さい。十台程
収容できます。
交通安全祈祷希望の方
ここに車を駐車(予約)
してください。
山主